



子孫垂子三句右 自序 七十二元

十月廿日限冬至殺
天地人ふ十安とす系

書指出版呈上

右を以て度ト居るにきりおその為と申
たのころ極く此の世のそのころ素意居る
見るとししころよかた道身月も十の
切るとししころは抄を以てしよお催し
経とては扱ふ伏るを申すか

新多物所石をのころ
和園鶴海に松を森石野道
突このけの終改よりみ

入金龍産家石

高九月 補佐 遠道檀之申連

